



# 遠藤 岩根 先生 お久しぶりです 皆様

## Always look on the bright side of life.

(いつも人生は明るい方を見よう)

おぼえていますか

友達の顔

夢を語った

旧い校舎を

手探りで

生きてたあの日

もうかえない

遠いあの頃

私が音楽の教科書で出会

った歌詞です。私が米沢女子高校に御世話になったのは、東京五輪の前の年でした。やがて千五百名を超す学生が集うことになる直前の頃です。今では校舎も当時とはずいぶん様変わりしました。はじめての担任は一年三組。私が高校一年の時も三組、しかも担任の先生は九里茂三先生でしたので、何か運命的なものを感じ、とても嬉しかったのを憶えています。授業は一年と三年の五クラスの英語を持たせてもらいました。毎日が楽しかった。この時の一年生も六〇歳を越えられました。Time flies like an arrow. です。以来約四〇余年、多くの同僚、何よりも前途有為な心優しい生徒の皆さんに支えて頂き、無事勤務出来ましたことに感謝です。ただその間、無限の可能性を持つ生徒にどのくらい素敵な言葉をかけてあげることが出来たか。教育は、英語の語源では「引き出す」という意味があります。自分はむしろ諸嬢の素晴らしき芽を摘んでこなかったか等、この年になっても反省しきりです。

ロマン・ロランは「人生には往復切符は発行されない。一度出発したら二度と



### セーラー服に下駄

右から三番目が私です

「私の高校時代と今」の原稿依頼を受けてしまいました。暫く文章を書いていない事や、脳の衰えも加え自信がなくなりました。五十年も前にタイムスリップの記憶？古いアルバムの探し物から始まりました。結婚以来新しい家族のアルバムは沢山有りますが、その古いアルバムはなかなか見つかりません。……が有りました。その想い出の頁をめくり一日中その中に浸りました。一コマ一コマ甦るあまりにも遠い昔。その中の一枚に下駄を履いた不思議な写真！右から三番目が私です。セーラー服に二十八枚折りヒダのスカート。の足下にはしつかり下駄が写っているではありませんか。天眞爛漫な私の高校時代です。その頃は通学時の履物は靴ではなく米沢の学生はほとんど下駄での登校でした。アルバムの中にはバスケット部の仲間や、クラスの友達と写った芋煮会、学園祭の劇にも出ていた写真もあり、頭の中が混乱状態です。懐かしいセーラー服は三十一年卒業生で終了。翌年からジャケットと箱ヒダのスカートに変わりました。

卒業後は就職、結婚等で関東で生活するようになりました。が、現在は「道しるべ」と称するサークルで山歩きや史跡巡り、ダンス等健康であれば出来る幸せを感じております。私の生活の周りの人々にも感謝です。

### 私の高校時代

井上しげ (旧姓 島貫) (さいたま市在住)

帰ってこない」と記し、一回かぎりの人生を、今を大切に生きることを我々に教えています。時には目を覆いたくなるような事件も起こる現世ですが、皆様には、人間としての温かさ、人間の痛みがわかる、社会のオアシスの役割を果たして下さる生き方を期待しています。そこそが学園創立者、九里とみ先生の教育の願いの一つと思うから。お元気でね。



先頭が筆者の井上さん